

南葛飾高校 令和5年度 第3学年 美術Ⅲ 年間授業計画

教科:(美術)科目:(美術Ⅰ) 対象:(第1学年1組~6組) 2単位

教科担当者:(1~6組:荒原一美)

使用教科書:美術1光村図書

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月 5月 6月	授業の方針 デザインの理論を学ぶ 「南葛祭ポスター」制作 アイデア→下書き→着彩→完成	情報伝達ツールであるデザインを理解する。 アイディアを考える。細部まで着彩を行う。提出期限に合わせて、着彩する。 アイデア、下書き、骨組み、肉付け、粘土塑像、着彩、ニスぬるそれぞれの段階で条件特性を理解し、創造活動を行う。	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】で評価する	28
7月	鑑賞		主体性関心を持って取り組んでいるか	4
9月 10月 11月	「時計制作」 アイデア→電動のこぎり→やすり掛け→着彩→ニス→完成	知識及び技能に関する題材目標 ・木の特徴、電動糸のこぎり、彫刻刀など工具の用途を理解し、作品制作を行った。 (考えたアイデアにより、各自使う道具が異なる。) (条件として電動糸のこぎりは必ず使用すること。) ・木の加工成形、やすりがけ、着彩、ニス、時計パーツ組立の加工を綿密に行った。 ・折れない形に切る。 (2)「思考・判断・表現」に関する題材目標 ・正方形の板の形を考え、そこから効率よく自ら考えたアイデアの形を切り出す。 ・自分の思う意図に応じて工具、材料、画材(絵具や筆)特性を生かすとともに、表現方法を 創意工夫し、自分の作りたいアイデアを追求し表現する。 ・完成提出期限を考え判断し、計画的に工程を進める。(制作計画性) (3)「学びに向かう力、人間性等」に関する題材目標 ・主体的にアイデアのスケッチを行う。 ・参考作品を見て、面白いアイデア発想をし・形を作品に生かすよう取り組もうとする。 ・教員からアドバイスをもらった点を自ら考え、アイデアスケッチや制作を進めようとしている。 ・疑問に思うことなど進んで質問する。 ・自宅にある技法に使えるような道具を持ってくる。資料が持参する。 ・準備・片付け・清掃を行い、作品作業環境を進んで整える。	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】で評価する	28
12月	「銅板レリーフ」	金属板を削ったりいぶしたりして、腐蝕させた部分させ凹凸で模様を表現する。筒状にふさわしいデザインを考える。 アイデアスケッチ→下書き→ヘラで合板を押し描く→いぶし液を付け、いぶす→水で洗う→耐水ペーパーで凸部を磨く→ティッシュでふき取る→完成		8
1月			【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】で評価する	2